



日本での留学生生活で感じたこと

法学部公法講座

王昇徽

台風19号で恐怖の一日を過ごしたり、日本で泣いたり笑ったりの留学生生活していますが、今日は台湾と日本についての感想を述べてみます。

■台湾の年寄りは日本語ペラペラ

19世紀末から、特に日清戦争後に成立された下関条約によって台湾は日本に割譲され、ほぼ50年間、日本に植民地として支配され、言葉を始め、生活の習慣・風俗・経済・政治文化など各方面に様々な影響を受けていました。ですから、台湾に住んでいる65歳以上の戦前に日本の学校教育を受けた人々が今尚、日本語を上手に使っています。しかし日本は第二次大戦に敗戦し、新たな国際条約に基づいて台湾は中国に返還され、台湾は中国に返還されても、日本との距離は近いので、今尚日本の影響を深く受けております。

■台湾も頑張れ!

まず、私は日本の国民は勤勉家だと思いません。今日の日本は経済大国になっても、欧米各先進国に比べると、国民ひとりの年間仕事

時間は最も多かったとアンケートの調査により判明され、しかも仕事も一生懸命頑張っていますし、特に電車に乗るにも競技のように走っています。更に私は不思議と思うのは日本のサラリーマンはロボットみたいに朝起きてから夜遅くまで休まずに仕事を続けています。このような精神は我国の国民も見習わなければならぬと思います。

■競争また競争

次に、日本の学校教育について、日本が今日のような経済大国になり得たのは明治維新以来、教育が重視されてきた結果であるという定評があります。ところが一流の企業に就職するためには子供は義務教育を受け始め、学校での学習だけではなく、夜遅くまで塾や予備校へ通って一流大学へ入らなければならぬのです。激しい進学競争があります。日本の子供は欧米各先進国の子供よりむしろ不幸だと思えます。もちろん、我国の状況も日本と変わりません。

■日本は法治国家、台湾は人治国家

第三に、日本国民の生活の習慣について、

日本の国民はよく法律を守る民族だと思いません。横断歩道を渡ることから、自動車を運転すること、又仕事の方法まで必ず法律を守るようにしています。そして、日本人は法律に忠実な民族とも言われています。とはいっても犯罪を犯す人がいないというわけでは有りませんが、人口に対して比較的少ないように思います。それに対して台湾では、法律は制定されていますが、それは政治家や統治者が国民を支配するために利用される傾向が強いように思われます。国民は法律を守るべきですが政治家や権力者も当然守るべきでしょう。例えば一九四六年に中国大陸で選挙された国會議員たちは既に45年が経過しても一度も改選されませんでした。議員たちは特権を持ち、一生の富貴栄華を享有しています。ですから、外国の記者に「台湾は人治国家であり、法治国家ではない」と批判されたのです。

■天皇と二〇億円

現在の欧米先進国ではほとんど民主主義を守っているのですが、日本は民主主義を提唱しつつ一方で天皇を尊敬しています。珍しい国だと思います。例えば昭和天皇が亡くなられた時にマスコミの報道によると、大喪の礼にかかった費用は合わせて、一二〇億円以上だったそうです、それは天皇が日本の精神の象徴だからでしょう。

以上が私の日本での留学生生活で感じたことです。

您好！今日は！

ハオニイ